

安城市内景況調査結果 (平成29年7月～9月)

< 来期も今期同様に依然厳しい状態が続いていく見通し >

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 102企業

2. 調査対象時期 平成29年7～9月期

(1)前年同期(平成28年7～9月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成29年10～12月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	25	27	18	32	102
構成比	24.5%	26.5%	17.6%	31.4%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、△13.7ポイントとなった。業況判断の前回実績(△18.3)と比較すると4.6ポイントの上昇であった。来期も業況判断においては上昇が見込まれる。しかし、全産業において人員不足の状態が続いていく見通しである。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△18.3	△13.7	△3.0
売上高	△18.2	△8.8	△4.9
売上単価	△18.2	△15.7	△14.7
資金繰り	△10.1	△8.9	△8.8
借入難度	5.2	7.9	△2.9
収益状況	△19.3	△17.7	△14.8
雇用人員	△32.7	△39.3	△39.2

凡例▶

30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△13.7		8.0		△29.6		△5.6		△28.2	
	売 上 高	△8.8		8.0		△12.2		△11.1		△21.9	
	売 上 単 価	△15.7		△12.0		△22.2		△11.1		△15.7	
	資 金 繰 り	△8.9		△4.0		△18.5		△16.7		△18.7	
	借 入 難 度	7.9		12.0		3.7		22.3		0	
	収 益 状 況	△17.7		△4.0		△29.6		0		△28.1	
	雇 用 人 員	△39.3		△40.0		△14.8		△77.8		△37.5	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△3.0		△4.0		0		△5.6		△3.2	
	売 上 高	△4.9		△4.0		△3.7		△11.1		△3.1	
	売 上 単 価	△14.7		△12.0		△18.5		△16.7		△12.5	
	資 金 繰 り	△8.8		△8.0		△22.2		△5.5		△6.2	
	借 入 難 度	△2.9		4.0		△14.8		11.1		△6.3	
	収 益 状 況	△14.8		△16.0		△11.1		△16.7		△15.6	
	雇 用 人 員	△39.2		△32.0		△25.9		△72.2		△37.5	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。